

あれから2年。奮闘は続いています。

2024年元旦に発生した「能登半島地震」の惨状は報道等を通じてご承知の通りです。直撃を受けた能登6市町合計で、人口は当時比▲10%、小中学生の人数は▲15%、未だに仮設住宅に6,900戸・13,000人が居住しておられます。当社の配送区域は、当該エリアから離れてはいますが、被災者に思いをはせつつ、今日も安定供給、安全確保に努めます。（以下は24年1月号）

えなじーさぽーとニュース 2024年1月号

震災で被害に遭われた全ての皆様にお見舞い申し上げます。

元旦に発生した「能登半島地震」の惨状は報道等を通じてご覧の通りです。県境を接する富山県でも北西部を中心に甚大な被害が出ています。当社は、火災や孤立が起こった珠洲、輪島から数十km離れた金沢市内に位置しており、幸い充填所も無傷で翌2日から配送を続けることが出来ています。然し、配送に出ても道路の損傷に阻まれて需要家様に辿り着けずやむなく引き返したことも度々。社員の中にも自宅損傷、断水、親族安否不明などの被害を受けた人がいますが毎日配送に出かけてくれています。彼らエッセンシャルワーカーの力を結集し、一歩でも前へ、一刻も早く、ガスをお届けする事で困難な人々の生活を支えてまいります。



困難に負けずに私たちは配送に出かけます。お客様に笑顔をお届けするために。